



←ホームページをリニューアルしました！QRコードからもアクセスできます
(新しいアドレス <http://www.shukouro.net/>)

メール info@shukouro.net

NO1981号

2022年6月8日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

秋厚労ニュース

性の



あり方は人それぞれ

**全厚労女性委員会
まずは知ろう！権利学習会**

6月3日（金）、全厚労女性委員会「まずは知ろう！権利学習会」が東京とオンラインの併用で開催され、秋厚労3人を含む50人が参加。学習講演、全厚労女性委員会で実施中の母性保護アンケートの中間報告、クイズ大会、グループワークと盛り沢山の企画を通して、普段会えない県外の人たちと交流しました。



講演「今、知るべきLGBTQ」

講師は水戸市議会議員でNPO法人RAINBOW茨城の滑川友理さん。「今、知るべきLGBTQ」と題し、レズビアンである自身の経験やその時々々の感情も交え、臨場感たっぷりに話しました。「LGBTQ」は、レズビアン、ゲイなどの頭文字。この5つだけでなく、他にも様々あるセクシュアリティ（性のあり方）を指す総称としてよく使われます。滑川さんは「セクシュアリティは人それぞれ

約10人に1人
日本人の100〜13人に1人はLGBT。滑川さんは「自分の周りには今までいなかった」と思うかも。それは、いたけれど「あなたに言わなかった」だけ」と説明。「誰に言うかは本人が決めること。本人の了承を得ない公開・暴露は、絶対にしてはいけない」と話します。

「**全ての人が使いやすい**」を目指す
滑川さんは「誰が好き」や「自身が思う性別」は自分で選んだものじゃない。「SOGIハラスメントをしないよう心がけよう」と呼びかけます。SOGIとは、私たち一人一人の「性的指向と性自認」のこと。例えば相手を異性愛者と決めつけて「彼氏／彼女いるの？」と聞いたり「好きな人いる

世界各国で同性婚が認められ、オリンピック憲章にも「性的指向による差別禁止」が盛り込まれました。日本は、先進国とされるG7の中で唯一、同性同士に対する法律がありません。今年4月現在、秋田県・秋田市を含む200以上の自治体がパートナーシップ制度を導入。しかし、引越して自治体を移動すれば無効か、再申請が必要に。異性愛カップルにはない「住む場所での対応が異なる」という問題もあります。

の？」で十分、「男／女のくせに〇〇」等の性別役割や価値観を押し付けたり、「うちの職場にはいない」と決めつけて話すと、聞いた当事者は深く傷つきます。それがSOGIハラスメント。職場の人材離れや、モチベーション低下につながります。

企業に出来ることは「SOGIハラスメントや差別の禁止を、社内規定に具体的に表記」「福利厚生の見直し」等。「LGBTに特化するのではなく、全ての人が使いやすいサービスは何か？と考えるのが良い」と話します。

《参加した人の感想》

- ☆ とても勉強になった。自分も子どもに「彼氏／彼女いる？」と言っていたかも。色んな人がいて、自分が知らないだけなんだと思った。色んな人の考えを聞くことは大事だと感じた。
- ☆ LGBTQも生理休暇も、小さい頃からの教育が大事だと思った。

最後に「異性愛が中心」という概念を取り払ってみて。性別は「男と女」だけではないことを忘れないでほしい」と訴えました。

グループワークで話弾む
講演後、動画やパワーポイントも用いて各県女性部の活動を紹介。クイズ大会の景品は各県自慢のお菓子、酒、ご当地カレーなど。グループワークでは、普段会えない県外の人たちと職場の状況や日頃の思いなどを話し合い、交流を深めました。話が弾み、時間が足りないくらいでした。